

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成23年12月22日 (2011.12.22)

【公表番号】特表2011-515115(P2011-515115A)

【公表日】平成23年5月19日 (2011.5.19)

【年通号数】公開・登録公報2011-020

【出願番号】特願2010-534183(P2010-534183)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/24 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/24

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月1日 (2011.11.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の端部および第 2 の端部を有する略チューブ状の要素を備え；

前記第 1 の端部は、第 1 の位置または第 2 の位置のいずれかの位置をとることができる、少なくとも 2 つの向かい合う自由な縁部により画成されたオリフェスを有し、前記オリフェスは前記第 1 の位置において平坦かつ略閉塞するとともに、前記第 2 の位置において略円形かつ開くように構成され；

前記第 2 の端部は、少なくとも 2 つの可撓性の部材を有し、前記可撓性の部材の各々はフレーム構造体を持たない縁部領域により構成され；

前記オリフィスが略閉塞している場合において、前記少なくとも 2 つの向かい合う自由な縁部の間の前記オリフィスの長さは、患者の右心室流出路または血管の直径の約 1 . 5 倍乃至 2 倍に等しいものとなるように構成され；

外側のチューブ状の構造をさらに備え；

前記チューブ状の要素が前記外側のチューブ状の構造の内部に配置されるように、前記可撓性の部材は前記外側のチューブ状の構造に対して取り付けられた；

血管弁。

【請求項 2】

前記チューブ状の要素は、フッ素重合体、ポリテトラフルオロエチレン、および生体適合性の合成樹脂のいずれか 1 つから形成される、請求項 1 に記載の血管弁。

【請求項 3】

前記外側のチューブ状の構造は、ステント、移植チューブ、またはステントおよび移植チューブの両方のいずれか 1 つにより構成された、請求項 1 又は請求項 2 に記載の血管弁。

【請求項 4】

弁が移植される予定の患者の血管の直径に基づいて請求項 1 に記載の血管弁を製作する方法であって、

短軸を有する略楕円形の形状を 1 枚の可撓性を有する合成された生体適合性の材料から切り出すステップと；

前記患者の血管の直径の約 1 . 5 倍乃至 2 倍に等しい距離で前記短軸に沿って切開が延在するように、前記楕円形の形状を前記短軸の一部に沿って前記切開するステップと；

前記短軸に沿って前記楕円形の形状を折り畳んで前記楕円形の形状の端部から2つの前記可撓性の部材を設けるステップと；

前記患者の右心室流出路または血管に挿入された場合に略チューブ状の形状を形成し、その一方の端部において有する前記切開が開閉可能な前記オリフィスを形成するように、前記折り畳まれた楕円形の形状を設けるステップと；

前記可撓性の部材が互いに略平行であり、前記略チューブ状の構造が維持されて弁を形成するように、前記患者の心臓または血管への挿入のためにサイズを調整されたステントまたは移植チューブに対して各々の前記可撓性の部材を取り付けるステップとを備える；  
方法。

【請求項5】

前記楕円形の形状の切開は前記楕円形の形状の縁部からそれぞれ約1mm乃至3mmの距離において端部を有する切開を生成するステップを有する、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記楕円形の形状の切開は前記楕円形の形状の前記縁部からそれぞれ約2mmにおいて端部を有する切開を生成するステップを有する、請求項5に記載の方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】

